

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-298377

(43)Date of publication of application : 12.11.1993

(51)Int.Cl.

G06F 15/403

G06F 3/14

G06F 15/40

(21)Application number : 04-106326

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 24.04.1992

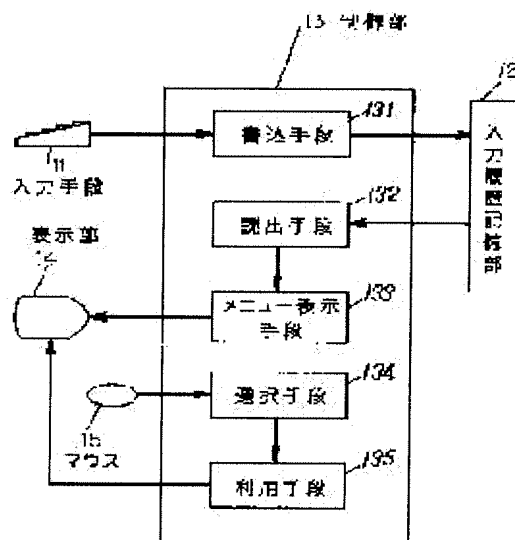
(72)Inventor : SHINOMIYA NORIKO

(54) INFORMATION PROCESSOR UTILISING INPUT HISTORY

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily specify and select data to be used and to attain highly accurate input history utilization by displaying stored input history always on a screen as a menu, and in each updating of the input history, dynamically updating also the content of the menu.

CONSTITUTION: Data such as an instruction inputted through an input means 11 are sent to a control part 13. In the control part 13, the input data are stored in an input history storing part 12 by a writing means 131. A reading means 132 reads out the input history and temporarily stores the read contents. A menu display means 133 displays the read data on a display part 14 by a menu format. A selecting means 134 uniformly selects input data by specifying a point of the display menu by a mouse 15. The selected result is applied to a using means 135, which displays the selected data on a current cursor position of a display part 14. The menu is updated by a FIFO-system in each updating of the input history.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-298377

(43)公開日 平成5年(1993)11月12日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/403		7060-5L		
3/14	3 4 0 B	7165-5B		
15/40	5 0 0 Z	7060-5L		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-106326

(22)出願日 平成4年(1992)4月24日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 四宮 典子

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

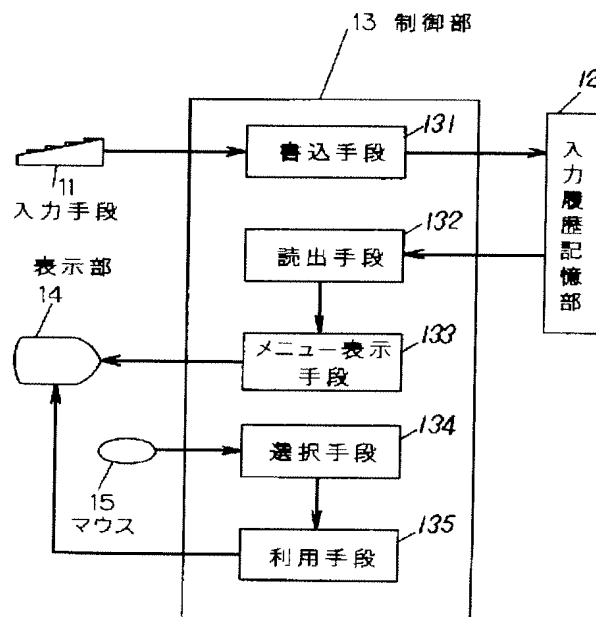
(74)代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

(54)【発明の名称】 入力履歴利用情報処理装置

(57)【要約】

【目的】 本発明は、記憶された入力履歴を表示画面にメニュー形式に表示して、入力履歴が更新される都度、ダイナミックにメニューを更新することにより、入力履歴を効率良く利用することのできる入力履歴利用情報処理装置を提供することを目的とする。

【構成】 入力が行なわれる都度、その履歴を記憶部12に書込み、記憶内容を読出し、読出したデータをメニューとして表示部14に表示する。このような、ダイナミックに更新されるメニューに表示される入力履歴データのうち一つを選択して、データを利用する機能15、134、135を有する入力履歴利用情報処理装置。



【特許請求の範囲】

【請求項1】データを入力する入力手段と、前記入力データを入力履歴記憶部に書き込む書込手段と、前記入力履歴記憶部から入力履歴を読み出す読出手段と、前記読出手段にて読み出された入力履歴を、前記入力履歴が更新される都度メニューとして表示部に表示するメニュー表示手段と、前記メニュー表示手段によって表示されたメニューからデータを選択する選択手段と、前記選択手段により選択されたデータを次の入力に利用する利用手段とを備えたことを特徴とする入力履歴利用情報処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は入力データを入力履歴として記憶し、前記入力履歴を利用してデータの行なう入力履歴利用情報処理装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】過去の入力データを記憶している入力履歴を利用して情報処理装置へデータ入力を行なう場合、従来は以下のような代表的な2つの方法で行なっていた。

【0003】第1の例は、入力履歴を利用する時に、オペレーティングシステムが用意している入力履歴を参照するためのコマンドを発行する方法である。前記入力履歴参照コマンドを発行すると入力履歴記憶部から入力履歴が読み出され、表示部に前記入力履歴の一覧が表示され、この表示された前記入力履歴から利用するデータを選択し、現カーソル位置にデータを引用する機能を有するものである。

【0004】第2の例は、入力履歴を利用する時に、キーボードのキーのうち入力履歴を読み出すように定義された特定のキーを押下する方法である。前記の読出しキーを押下すると記憶された入力履歴が読み出され、入力履歴が現カーソル位置に引用されるもので、キーを押下する度に入力履歴が後入れ先出し方式で読み出される機能を有している。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら従来の入力履歴利用情報処理装置の第1の例では、入力履歴を呼び出すためのコマンドを発行する必要がある点が、第2の例では、利用したいデータに到達するまでキーを押下し続けなければならない点が問題となり、いずれも利用したい入力データを利用するに至るまでの効率が悪いと言う問題がある。

【0006】本発明はかかる問題点を解決するためになされたものであって、入力履歴を表示画面にメニュー形式に表示して、入力履歴が更新される都度、ダイナミックにメニューを更新することにより、利用データの特定を容易にし、入力履歴を効率良く利用することのできる入力履歴利用情報処理装置を提供することを目的とす

る。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記問題点を解決するために本発明の入力履歴利用情報処理装置は、データを入力する入力手段と、入力データを入力履歴記憶部に書き込む書込手段と、前記入力履歴記憶部から入力履歴を読み出す読出手段と、この読出手段にて読み出された入力履歴を、前記入力履歴が更新される都度メニューとして表示部に表示するメニュー表示手段と、前記メニュー表示手段によって表示されたメニューから利用するデータを選択する選択手段と、前記選択手段により選択されたデータを次の入力に利用する利用手段とを含むことを特徴とする。

【0008】

【作用】本発明の入力履歴利用情報処理装置においては、データ入力を行なうと入力データが入力履歴記憶部に蓄積され、前記入力履歴記憶部から入力履歴を読み出し、この入力履歴が更新される都度メニュー形式でダイナミックに表示部に表示させることで、データを容易に特定することが可能になり、所定の操作により所望のデータを選択すると、この選択されたデータが次の入力に利用可能となり、効率良い入力履歴の利用が行なえる。

【0009】

【実施例】以下本発明をその実施例を示す図面に基づき詳述する。

【0010】図1は本発明に係る入力履歴利用情報処理装置の実施例における装置のブロック図である。図1において11は入力手段であり、命令などのデータを入力する機能を有するもので、通常はキーボードや手書き入力装置等の入力装置である。12は入力履歴記憶部であり、入力手段11より入力されたデータを入力順に記憶しておく記憶装置である。13は制御部であり、マイクロプロセッサからなり、メモリにある制御プログラムに従い後述するデータ処理を行なう。14は表示部であり、入出力データの表示を行なうキャラクタ端末やグラフィック端末である。15はマウスでありデータの選択を行なう。

【0011】入力手段11を用いて入力された命令などのデータは、制御部13へ送られる。制御部13において、前記入力データは書き込み手段131により、入力履歴記憶部12に記憶される。読みだし手段132は入力履歴を読みだし、これを一時的に保持する。メニュー表示手段133は前記読出しデータをメニュー形式で表示部14に表示する。選択手段134ではマウス15を用いて表示メニューの一点を指定することにより、入力データが一意に選択される。この選択結果は利用手段135に与えられ、利用手段は表示部14の現カーソル位置に選択されたデータを表示させる。

【0012】図2は、本発明の入力履歴利用装置の入力

10

20

30

40

50

履歴利用方法のフローチャートを示す図である。いま入力手段11から入力となされたものとする(ステップ21)、書込手段131は入力履歴記憶部12に、前記入力データを書込み(ステップ22)、続いて読出手段132は、入力履歴記憶部12に記憶されている入力データを読出し(ステップ23)、これをもちいてメニュー表示手段133は表示部14にメニューを表示する(ステップ24)。入力履歴記憶部12への書込み(ステップ22)と入力履歴記憶部12からデータ読出し(ステップ23)とメニュー表示(ステップ24)は、
10 入力(ステップ21)が行なわれると連続して行なわれる。このようにして、入力が行なわれる毎に入力履歴をダイナミックにメニュー表示することが可能になる。次に、選択手段134で、前記メニューから一つの入力データを選択して(ステップ25)、利用手段135で、前記入力データを利用する(ステップ26)。

【0013】続いて、メニュー表示手段133により作成されるメニューを図3に示す。メニュー31には、入力履歴データ32毎に領域が与えられ、その中に入力履歴データ32の内容が表示される。メニュー31は入力履歴が更新される毎に先入れ先出し方式で更新される。選択手段134では、メニュー31上の一点をマウス15で指定することにより、データが一意に選択33される機能を有する。

【0014】なお本実施例では選択手段においてマウスを用いて選択を行なったが、これはキーボードを用いてもよい。この場合入力履歴が表示されたメニューの各項目がキーボードの特定のキーに対応しており、一つのキーを押すことにより、一意に入力データを指定すること*

*ができる。

【0015】なお、本実施例の利用手段においては、現カーソル位置に選択されたデータを表示させているが、これは現カーソル位置に表示させた後続いて実行を行なわせるとしても、表示することなしに実行を行なわせるとしてもよい。この場合、入力履歴を変更することなくそのまま用いて実行する時に効果がある。

【0016】

【発明の効果】以上のように本発明は、記憶された入力履歴を常に画面上にメニュー表示することと、前記入力履歴が更新される都度、前記メニューの内容もダイナミックに更新することにより、利用したいデータを容易に特定し、選択することを可能にし、効率良い入力履歴の利用を行なうことを可能とする。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施に使用する装置のブロック図

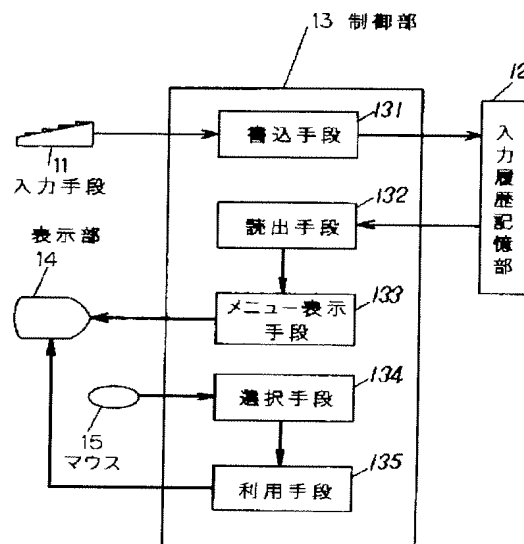
【図2】本発明の入力履歴利用方法のフローチャート

【図3】本発明の入力履歴メニューの説明図

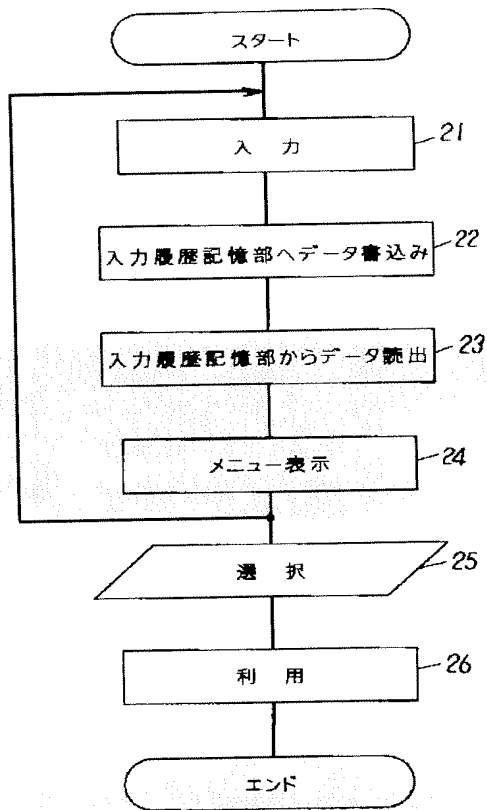
【符号の説明】

- 11 入力手段
- 12 入力履歴記憶部
- 13 制御部
- 131 書込手段
- 132 読出手段
- 133 表示手段
- 134 選択手段
- 135 利用手段
- 14 表示部
- 15 マウス

【図1】



【図2】



【図3】

